

白神通信

平成28年度 第1回巡視員会議を開催

白神山地世界遺産地域巡視員会議(秋田県側)が6月5日八峰町ファガスで開催され、地域連絡会議の構成機関をはじめ巡視員、関係市町の担当者らが出席しました。

はじめに地域連絡会議を代表し、東北森林管理局計画保全部長より「巡視活動への多大なるご協力に感謝する。最近の白神山地及び周辺を巡る動きとして、ニホンジカが青森県側の遺産地域内のカメラで撮影されるなど侵入が確認されている。監視強化を図っていくので積極的な情報提供をお願いしたい。また、今年度は鹿角市において熊による死亡事例が3件発生している。安全に十分注意をお願いしたい。」と挨拶があり、続いて出席者と今年度から新たに加わる3名の巡視員の紹介の後、代表して畠山一美氏へ委嘱状が授与されました。その後、構成機関及び関係市町から今年度の事業計画の説明、東北森林管理局より巡視員の活動にかかる留意事項、入山マナー向上対策、今年度合同パトロールの予定等について説明がありました。

また、関心の高いニホンジカ等の情報収集について構成機関等から説明があり、西目屋自然保護官事務所よりセンサーカメラの設置、糞識別調査、東北森林管理局よりニホンジカ影響調査・簡易チェックシートの実施等について説明がありました。

引き続き行われました意見交換会では、巡視活動中の安全対策や入山者と接する際の留意点等について巡視員から活発に意見が出され、熱心に耳を傾けノウハウの共有をしました。



白神山地世界遺産地域巡視員会議の様子

白神森林講座

第1回白神森林講座

今年度始めてとなる白神森林講座を6月11日(土)、白神山地ニツ森登山とブナ林の散策等の自然観察会開催しました。当日は天気にも恵まれ13名が参加しました。ニツ森では、日本海ブナ林の眺望や世界遺産地域の概要などの説明を聞きながら、野鳥の鳴声をバックに山頂までの道のりを楽しみました。山頂からは白神岳、向白神岳、そして遠くには岩木山、森吉山、日本海等を眺望することができ、すばらしい景色に参加者からは歓声があがっていました。

また、眼下の広大なブナ林を俯瞰して、あらためて世界自然遺産の価値を実感しました。

午後から留山では地元ガイドの案内により、藩政時代から田畑の水源を確保するために大切に保全されたブナ林を散策し、森林の役割について理解を深めました。

留山は標高約200m足らずで、手軽にブナ林やミズナラなど高木性の樹種、貴重なコケイラン等の植物を観ることができます。林内は遊歩道やベンチが整備されており観光スポットとなっていますが、荒廃防止等の観点から一定の研修を得たガイドの同行が義務付けられています。

最後に、参加者からは「山や草花にも詳しく勉強になった」との感想をいただき、あと3回白神森林講座がありますので、皆様の参加をお待ちしております。



山の日記念を祝して



ブナについての説明

第2回白神森林講座

今年度第2回目の白神森林講座を7月9日(土)、秋田白神コミュニケーションセンターと共催で開催しました。秋田市、能代市から17名が参加しました。

前日からの雨の影響から、コースを変更して樺岱登山道からブナ平(標高795m)まで登りました。

途中、ブナの幹を流れる樹幹流を被写体とした上手な写真な撮り方や雨の影響から緑色の霧雨に包まれたブナ林等、雨の日でなければ見ることの出来ない風景を体験しながら、幻想的な登山を楽しみながら一歩ずつ登りました。

また、歩道脇にはギンリョウソウ等が花を咲かせており、参加者はガイドからブナや植物についての説明等を聞きながら登山を楽しみました。

下山後は、水の日関連イベントとして素波里ダム周辺の散策を行いました。この素波里ダムは昭和38年の集中豪雨により甚大な被害を受けたのを契機に昭和45年に粕毛川上流部に竣工した多目的ダムです。森林の水源涵養機能や素波里ダムの歴史、事業概要の紹介と当時使用としていた森林鉄道の遺構跡等を資料を使って説明しました。

参加者からは「子供の頃に営林署の敷地や土場に入って遊んだりしたもの。身近に営林署はあった。」「ダムや水辺の風景が美しい」との感想がありました。

白神産地世界遺産地域＝ブナ林・登山だけではなく、貴重な水資源や自然豊かな川等美しい景観が沢山あることを改めて実感し、和やかな雰囲気の中で今講座は無事終了しました。



いざ出発!



ブナ平でハイポーズ



霧雨の素波里湖

白神山地の自然観察会

平成28年6月17日、秋田県立ニツ井高校白神プロジェクトの一環として、植樹体験と白神山地の観察会を実施しました。

秋田県立ニツ井高校1年生37名、引率の教師7名、NPO法人秋田白神の森倶楽部関係者、県山本地域振興農林部森づくり推進課、当センター2名、総勢65名で私有林0.5ヘクタールにブナ広葉樹苗(ポット)100本、杉苗(コンテナ苗)1100本を2人一組になり植付けしました。ブナ苗木は鍬を使っての作業で、悪戦苦闘しながらがんばって林地外周に植付けをしました。杉苗木はリフィルで穴をあけてコンテナ苗を差し込む作業に、汗をかきながら2m間隔での植付けは、生徒さんにとっては初めての体験でした。

その後、鹿瀬内沢国有林1028林班(樺岱)へ移動し、昼食を摂り、ブナ林の観察会を行いました。雨もやみ、周辺のブナ林内で3班に分かれて散策し、生徒さんはインストラクターの説明に熱心に耳をかた向け学習しました。最後に、「植付けをしているいろいろなことを教えてもらい、将来どのように成長していくのか興味があります。今日はありがとうございました。」と感想をいただき無事終了しました。



植樹の様子



植樹記念写真



観察会

藤里中学校職場体験

7月13日(水)に藤里町立藤里中学校の生徒が1名職場体験に訪れました。職場体験では(1)働く人の話を聞いたり体験活動を行ったりすることで、仕事をすることの喜びや苦勞を理解できるようにする。(2)働くことに関心を持つとともに、仕事の内容や自分の適性を理解し、将来の進路を考えることができるようにする。2つのねらいがあります。

所長から当センターの概要を説明した後、能代市ニツ井町七座山で、森林管理署等で実際に作業で使用している輪尺(根際から120cmの高さで木の太さを測る器具)やブルーメイス(木の高さを測る器具)を用い、木の測樹の体験や、遊歩道に異状が見られないか、木が倒れたり木が切られていないか、山野草等盗まれていないか等の巡視ポイントの説明を受けながら七座山の森林パトロールを行いました。

その後、ニホンジカ対策で設置しているセンサーカメラの操作や設置方法、データ回収の業務も体験しました。

生徒さんからは「将来、林野庁職員になれるように勉強に頑張ります。」と大変心強い抱負が述べられました。近い将来、一緒に仕事ができる日を楽しみにしております。



輪尺を使用して測樹体験



森林パトロールの様子



センサーカメラ設置

センサーカメラによるニホンジカの撮影について

藤里森林生態系保全センターでは、平成26年度から白神山地世界遺産地域の周辺地域に自動撮影装置付きのセンサーカメラを設置してニホンジカや外来種の侵入を監視してきました。

秋田県内におけるニホンジカ目撃情報は、県北地域でも増えている状況となっていますが、当センターが設置したセンサーカメラには、これまでニホンジカが撮影されていませんでした。

しかし、今年6月、藤里町の寺沢国有林に設置したセンサーカメラで撮影された個体が、専門家の意見も踏まえてニホンジカと判断されました。撮影された場所は白神山地世界遺産地域(緩衝地域)から直線距離で約8kmの地点となっています。昨年度は、この地点から約3km離れた真土地区等の民有地でもニホンジカの日撃情報があったことも踏まえ、引き続きセンサーカメラによるニホンジカ監視体制の強化に努めていくこととします。

なお、当センターでは、地元自治体や地元猟友会等と連携を図りながら、今年度の冬期間に小型囲いわなによるニホンジカの捕獲事業の検証を行うこととしています。小型囲いわなを設置する場所については、目撃情報、撮影データ及び地理的な条件等を勘案しながら検討することとしています。



ニホンジカ

◎巡視日誌

シロマダラとの遭遇(センサーカメラのデータ回収)

センター職員が藤里町内の森林(世界遺産地域外)で珍しいへびと遭遇しました。和名はシロマダラ。日本全国に分布しているようですが、個体数が少なく夜行性ということから、あまりお目にかかることがないようです。

シロマダラは、お隣の青森県のレッドリストでは「絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危機が増大している種)」、岩手県では「準絶滅危惧種(存続基盤が脆弱な種)」となっているようです。ちなみに秋田県は「情報不足」となっていて、やはり目にするのは珍しいようです。

実はセンター職員は2週続けて同じ場所でシロマダラに遭遇していて、こんなに珍しい生物と何回も出会えるのは幸運と言えるかも知れません。



シロマダラ

「奥山に紅葉ふみわけ 鳴く鹿の声きくときぞ 秋はかなしき」

皆さんご存じの小倉百人一首にも鹿が登場します。秋に聞くこのニホンジカの声の主は、繁殖期を迎えたオスジカです。ニホンジカは秋に繁殖期を迎え、この時期に「フィーヨ、フィーヨ」と鳴き声を発しオス同士で競い合います。この鳴き声を「ラッティングコール」といい、この声を頼りに生息調査や猟をすることもあります。

これから秋を迎え夜が静かに感じるが多くなりますが、ラッティングコールが聞こえるか耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

編集後記

今年はものすごく暑かったですね。皆さんは暑さ対策万全でしたか？

かの私は、体調を崩してしまいました。2週間ほど仕事を休みました。起き上がる気力もありませんでした。生きていてこれほど具合の悪いことはありませんでした。家族は、私か寝込んだことで食事・掃除・畑のなりもの等大変だったと思います。また、家族のありがたさも感じました。

そして、つくづく健康について考えさせられました。健康であれば笑ってもいられるし、ヒトに対しても優しくいられる。健康ってありがたい！

皆さんも健康には十分留意して残暑をのりきってください。

(MH)